

令和4年度 予算施策評価表

様式1

施策名	生活道路網の整備				予算施策コード	db11	
担当部局名	土木部	道路都市局	道路建設課	評価責任者	課長 曾我部 知正	連絡先	4411

1 施策の内容

施策の目標	地域間を連絡する幹線道路を補完し、地域内の社会経済を支える根幹的な道路である生活道路網を整備することにより、県民の日常生活における安全性・利便性の向上や快適な生活環境を確保する。
-------	---

これまでの取り組み	<p>全国平均の道路改良率が85%(H31.4)を越える中、本県の国道、県道の改良率は、令和3年4月現在で75.7%と、本県の道路の整備状況は、全国に比べて非常に遅れている。平成15年12月から「愛媛道ビジョン」に基づき重要路線180路線を選定し、圏域30分アクセス関連道路について重点化を図り整備を行ってきたところである。</p> <p>また、事業効果の早期発現を目指し、それまでの一律2車線改良を見直し、交通量や沿道状況、地形などから判断し、2車線区間、局部改良区間、1車線区間を組み合わせた1.5車線の整備手法により道路整備を行ってきた。</p> <p>しかしながら、策定後、10年以上が経過したことに加え、この間に、東日本大震災や中央道笹子トンネル事故の発生などにより、大規模災害への備えや老朽化対策が喫緊の課題となるなど、大きな社会情勢の変化があり、これらの新たな課題への対応が求められていることから、現行ビジョンの「重点化」、「効率化」を踏襲した、あらたな「愛媛道ビジョン」を平成28年2月に改訂した。</p>
-----------	---

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	最適最小ネットワーク形成率				B	拠点形成を支援するための道路改良率					
選択理由	県下の重要路線(最適最小ネットワーク)を整備するに当たり、県内の均衡ある整備の有無を判別する指標として、本指標を採用した。				選択理由	市町内交通の円滑化を判別する指標として、本指標を採用した。					
算定方法	道路構造令の規定に適合するよう改築(5.5m未満含む)された道路延長/道路実延長の割合で表示。				算定方法	旧市町村役場と集落中心地である小学校数(370校)間における改築(5.5m未満含む)された道路延長/道路実延長の割合で表示。					
成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	ストック	指標の種類(プラス/マイナス)	+	成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	ストック	指標の種類(プラス/マイナス)	+

指標・事業費・人件費の推移												
区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	km		%	%		%	千円					
2年度	84	83	98.8%	89	89.1	100.1%	1,919,658	10,732	124,596	1,784,330	1,818,424	146,823
3年度	84	83	98.8%	89.1	89.2	100.1%	2,046,886	10,730	133,755	1,902,401	1,924,729	146,410
4年度	84	83	98.8%	89.2	89.4	100.2%	1,842,239	9,011	69,335	1,763,893	1,746,603	101,509

2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	生活道路は、幹線道路を補完し地域の社会経済を支える根幹的な基盤施設であり、県が積極的に関与し県下の均衡ある整備を図る必要がある。				
高い							
成果指標A		説明	道路整備の方針を示す「愛媛道ビジョン」を平成15年に策定し、重点化・効率化をキーワードに、道路整備を進め、特に重点化では、重要路線を選定し、集中的に整備を行ってきた。しかしながら、社会情勢の変化を踏まえ、平成28年2月に新たな道ビジョンを策定し、重要路線を見直した結果、重要路線に限定すれば、令和4年4月現在、改良率が83.1%となっており、国・県道の改良率75.7%を大きく上回っているほか、全国の整備水準に近い値となっているところである。また、厳しい財政状況の中ではあるが、さらなる事業の重点化、効率化を進めることで、ある程度の向上は可能であると考えられる。				
成果動向	順調・向上						
成果向上余地	成果向上が可能						
成果指標B		説明	事業の進め方である「愛媛道ビジョン」を平成15年に策定、28年に改訂し、重点化・効率化を図り、重要路線の整備を集中的に行ってきたところであり、成果は順調に向上していると考えられる。厳しい財政状況の中、令和4年4月現在の拠点形成を支援するための道路改良率は89.4%である。				
成果動向	順調・向上						
成果向上余地	成果向上が可能						
参考：構成事務事業の評価の平均値		成果動向	2.17	順調・向上	成果向上余地	1.67	成果向上が可能

4-1 事務事業管理シート（評価対象事業）

							予算施策名		db11		生活道路網の整備												
1 生活道路改良整備事業費			指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり						
指標種類1	指標名称1		単位	計画	89	89.1	89.2		事業費計	1,888,038	2,017,690	1,815,497	2,524,909	評価	早期効果が発現可能な箇所へ予算を重点配分することにより、一定の成果向上の余地がある。								
成果	+	ストック	指標名称1	単位	実績	89	89.1			89.4	国費									方向1	このまま継続		
					達成率	100.00%	100.00%			100.22%		その他	124,596					133,755	69,335				118,778
					達成率	100.00%	100.00%			100.22%			県費					1,763,442	1,883,935				1,746,162
指標種類2	指標名称2		単位	計画	86	86	86			事業費計	1,790,703	1,902,785						1,724,230	見直し 方向性	方向2			
成果	+	ストック	指標名称2	単位	実績	85	85				85	国費									方向3		
					達成率	98.84%	98.84%				98.84%		その他					51,800		63,500		63,345	
					達成率	98.84%	98.84%			98.84%	県費							1,738,903	1,839,285	1,660,885			
指標種類3	指標名称3		単位	計画	123	120	118			事業費計		1,790,703	1,902,785					1,724,230	見直し 方向性				
活動	+	フロー	指標名称3	単位	実績	123	120				116	国費											
					達成率	100.00%	100.00%	98.31%	人役		21.5		24	16.8									
					達成率	100.00%	100.00%	98.31%		人件費	145,469		145,200	100,313									
実施 期間	始期	終期	事業の概要																				
			地域住民の生活環境の向上を図るため、生活圏域を結ぶ幹線道路網である県管理国道や県道において、現道の拡幅や線形改良またはバイパス等の建設を行うものである。																				
2 今治小松自動車道周辺整備対策費			指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり						
指標種類1	指標名称1		単位	計画	2	1	1		事業費計	20,888	18,466	17,731	26,157	評価	国が実施する今治小松自動車道の整備進捗に併せ、今治市が周辺整備対策事業を実施することで、円滑な事業実施に貢献しており、成果は順調である。								
成果	+	フロー	指標名称1	単位	実績	3	2			1	国費									方向1	このまま継続		
					達成率	150.00%	200.00%			100.00%		その他											
					達成率	150.00%	200.00%			100.00%			県費					20,888	18,466				17,731
指標種類2	指標名称2		単位	計画	2	3	3			事業費計	20,888	16,807						17,450	見直し 方向性	方向2			
活動	+	フロー	指標名称2	単位	実績	6	3				2	国費									方向3		
					達成率	300.00%	100.00%				66.67%		その他										
					達成率	300.00%	100.00%			66.67%	県費							20,888	16,807	17,450			
指標種類3	指標名称3		単位	計画						事業費計		20,888	16,807					17,450	見直し 方向性				
			指標名称3	単位	実績							国費											
					達成率	-	-	-	人役		0.1		0.1	0.1									
					達成率	-	-	-		人件費	677		605	598									
実施 期間	始期	終期	事業の概要																				
	H26	R8	今治小松自動車道の建設により影響を受ける地域において、今治市が実施する周辺整備に対して助成するもの。																				
3 指導監督事務費			指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余 地が小さい						
指標種類1	指標名称1		単位	計画	53	53	53		事業費計	10,732	10,730	9,011	12,106	評価	国土交通大臣の委任に基づき、国から配分された事業費により行う事業であり、成果向上余地は小さい。								
成果	+	ストック	指標名称1	単位	実績	52	52			52	国費	10,732	10,730					9,011	12,106	方向1	このまま継続		
					達成率	98.11%	98.11%			98.11%		その他											
					達成率	98.11%	98.11%			98.11%			県費										
指標種類2	指標名称2		単位	計画	40	40	70			事業費計	4,421	5,137						4,923	見直し 方向性	方向2			
活動	+	フロー	指標名称2	単位	実績	48	77				84	国費	4,421					5,137		4,923	方向3		
					達成率	120.00%	192.50%				120.00%		その他										
					達成率	120.00%	192.50%			120.00%	県費												
指標種類3	指標名称3		単位	計画						事業費計		4,421	5,137					4,923	見直し 方向性				
			指標名称3	単位	実績							国費											
					達成率	-	-	-	人役		0.1		0.1	0.1									
					達成率	-	-	-		人件費	677		605	598									
実施 期間	始期	終期	事業の概要																				
	S32		国土交通大臣の委任に基づき、市町が施行する道路事業の補助金等の交付に関する事務について、県が指導・監督・検査等を行い、事業の適正な実施を図る。																				